

自己表現活動中心の基礎日本語教育の教育企画(教育のマトリクス)

| 習得ステージ         |  | 助走ステージ   | 離陸ステージ   | 表現方法拡張ステージ  | 表現方法充実ステージ  | 表現方法発展ステージ   |  |
|----------------|--|--|--|---|---|--|--|
| ユニット           |  | ユニット1-7  | ユニット8-12   | ユニット13-18   | ユニット19-24   | Supplementary Unit   |  |
| C. 書記言語        | ウ. 書記言語<br>技量  | 本ステージの緒テーマについてコントロールして書かれたものを限られた範囲で読み上げることができる。   |  | 本ステージの緒テーマについてコントロールして書かれたものを限られた範囲で読み上げることができる。  |   | 本ステージの緒テーマについてコントロールして書かれたものを限られた範囲で読み上げることができる。   |  |
|                |  | 本ステージの緒テーマについてコントロールして書かれたものを限られた範囲で読み上げることができる。   |  | 本ステージの緒テーマについてコントロールして書かれたものを限られた範囲で読み上げることができる。  |   | 本ステージの緒テーマについて少しくontrolして書かれたものを限られた範囲で読み上げることができる。  |  |
|                | β. ユニットの<br>目標書記<br>言語技量   | 各ユニットで、書記テキストを思い出すための参考にしながら、学習したナラティブを口頭で再生することができる。学習した書記モードのナラティブなども参照しながら、ひらがなとカタカナを使い一部漢字も交えて、後で話すための記録として書くことができる。                         |  |   |   |  |  |
|                |  | 1. ひらがなが自発的に書ける。<br>2. 提示されたカタカナや入門漢字50字を遅滞なくそれと認識されるように再生することができる。<br>3. 書記モード(ひらがな、カタカナ、入門漢字50字)で提示された既習語を同定することができる。<br>4. 句読点を適切に使用することができる。 |  | 1. 漢字の運筆と要素配置の基本を習得している。<br>2. 提示された基本漢字80字を遅滞なく再生することができる。<br>3. 累計130字の漢字を含む学習漢字語の90%を読むことができる。<br>4. 累計130字の漢字の70%を自発的に書くことができる。 |   | 1. 提示された基礎漢字89字を遅滞なく再生することができる。<br>2. 累計300字の漢字を含む学習漢字語の90%を読むことができる。<br>3. 累計300字の漢字の60%を自発的に書くことができる。  |  |
| イ. 基礎書記<br>技能  | 1. ひらがなが自発的に書ける。<br>2. 提示されたカタカナや入門漢字50字を遅滞なくそれと認識されるように再生することができる。<br>3. 書記モード(ひらがな、カタカナ、入門漢字50字)で提示された既習語を同定することができる。<br>4. 句読点を適切に使用することができる。 |  | 1. カタカナ語を除く特殊音をも含む前期の既習語を、音声提示に基づいてひらがなで書ける。<br>2. カタカナと入門漢字50字を自発的に書ける。<br>3. 前期の既習語を入門漢字50字の使用を含めて、音声提示に基づいて正しく書くことができる。             |   | 1. 提示された基礎漢字81字を遅滞なく再生することができる。<br>2. 累計211字の漢字を含む学習漢字語の90%を読むことができる。<br>3. 累計211字の漢字の65%を自発的に書くことができる。 |  |  |
|                | 1. ひらがなが自発的に書ける。<br>2. 提示されたカタカナや入門漢字50字を遅滞なくそれと認識されるように再生することができる。<br>3. 書記モード(ひらがな、カタカナ、入門漢字50字)で提示された既習語を同定することができる。<br>4. 句読点を適切に使用することができる。 |  | 1. カタカナ語を除く特殊音をも含む前期の既習語を、音声提示に基づいてひらがなで書ける。<br>2. カタカナと入門漢字50字を自発的に書ける。<br>3. 前期の既習語を入門漢字50字の使用を含めて、音声提示に基づいて正しく書くことができる。             |   | 累計130字の漢字を含む学習漢字語を読むことができる。   |  |  |
| 表出<br>言語<br>特性 | ア.<br>文字・表記  | ・ひらがな ・カタカナ ・句読点 ・入門漢字50字  | ・基本漢字80字(累計130字) ・段落頭1文字下げ   | ・基礎漢字81字(累計211字)  | ・基礎漢字89字(累計300字)  | N.A.   |  |
| B. 口頭言語        | Z. 口頭言語<br>技量  | 自分のことや家族のこと、好きなものや好きなこと、日々の生活、日常的な事柄や出来事などについて表出・解釈・相互行為の言語活動が限られた範囲でできる。誘う、ものを勧める、行為を申し出る、などを行うことができる。  |  | 毎日の生活、わたしの楽しみ、わたしの将来、できること・できないこと、プレゼント、親切・手助け、などのテーマについて表出・解釈・相互行為の言語活動が限られた範囲でできる。  |   | これまでの自身の経験を振り返り、親や他者との関係でどのような経験をしてきて、それが現在の自分の形成にどのように関わっているかについてあれこれ話せる。成長過程での兄弟などの話もできる。ひどい経験、自分の国の言語・地理・気候の話が限られた範囲でできる。また、そうしたテーマについて解釈・相互行為の言語活動が限られた範囲でできる。 |  |
|                |  | 家族のことが話せる/聞いてわかる/会話に従事することができる。経験の有無を言い将来の希望を述べる。ある活動の場での決まりや指示などを言う/注意をする、いそがしくすることの多い生活や仕事について話す、気をつけるべきことを言う/助言する、などの活動や行為が限られた範囲でできる。        |  | 前ステージのさまざまな言語活動が比較的流暢にできる。  |   | 前ステージのさまざまな言語活動が比較的流暢にできる。   |  |
|                | α. ユニットの<br>目標口頭<br>言語技量   | 各ユニットで、ユニットのナラティブについて、口頭での文ごとのプロンプトに従ってナラティブを正しい発音で再生することができる。ユニットのテーマについて限られた範囲で表出・解釈・相互行為の言語活動ができる。  |  |   |   |  |  |
|                | Y. 基礎口頭<br>技能  | 【認識可能な発音】<br>1. 基本的な音声についてそれと認識されるように発音できる。<br>2. 特殊音をそれと認識されるように発音できる。  | 【クセのない分かりやすい発音】<br>1. 平板アクセントも適用してたいの語を正しいアクセントで分かりやすく発音できる。<br>2. イントネーションや抑揚のくせのない発音ができる。  |   |   |  |  |
| 表出<br>言語<br>特性 | X.<br>音声   | 50音、特殊拍、アーティキュレーション法、アクセントパターン、プロミネンス、句のまとまり、文末のイントネーション   |  |   |   |  |  |
| A. 言語<br>特性    | 動詞の活用  | なし   |  | あり  |   |  |  |
|                | 単文/複文  | 単文   |  | 複文  |   |  |  |
|                | 文型の複合  | なし   |  | 若干あり  |   | あり   |  |
|                | 表現法と文型   | 名詞文/形容詞文/動詞文、～マス及びその変化形(「～ますか、～ませんか、～ましょうか①、～ましょうか②、～ましょう」を含む)   | ～ています、～てください/～ないてください、～たことがあります、～たいです/～たいと思っています、～てもいいです/～てはいけません、～なければなりません、～たほうがいいです/～たほうがいいと思います/～ないほうがいいです/～ないほうがいいと思います、～たり～たりします | ～たら/～てから/～とき/～ながら、～すること/～するの、   | ～ように言われました、～(さ)せてくれました、～(さ)せようしました、～てほしい、～になりました、～(する)と   | ～(れ)ば、疑問詞(+助詞)+～(れ)ばいいか  |  |
|                | その他の文法事項   | 省略   |  |   |   |  | ～てあります、～ておきます、～よ、～すぎる、～のです/～んです、～なさい、～ようと思います、～ようとしても、～わけではありません/～始める/～続ける |
|                | 文末表現   | N.A.   | 【捕捉的な要素として】(～たい)と思っています、(～たほうがいい/～ないほうがいい)と思います  | ～と思います/～だろうと思います/～んじゃないかと思いますが/～かもしれません/～かどうかわかりません/～かどうか(まだ)決めていません  | ～そうです(伝聞)、～そうです(様態)、～てしまう   |  |  |
| 文法事項           | 形容詞、形容詞の活用、あります/います、コン・ア   |  | 変化動詞/不変化動詞/不規則動詞、テ形、タ形、ナイ形   |   | 辞書形、名詞修飾節、可能表現、授受表現、動詞+授受の表現  | 受身表現、使役表現、使役受身表現   |  |

※ 広く言うと、BはAに支えられ、CはBに従属する。  
 ※ 各ユニットの話として言うと、αは、AとXとYに支えられる。そして、βは、αの上にAとIが重なることで可能になる。この図によって、Iがひじょうに大きな学習課題となることが明示される。  
 ※ また、学習指導においては、αやβに関与しつつ、Zやウの事項を常に配慮しなければならぬ。  
 ※ さらに、Zやウ、さらにはウの中では、濃い部分が「表」の目標であり、薄い部分が「裏」の目標である。指導者は、「裏」の目標への配慮も忘れてはならない。